

キャッチフレーズ

「明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声」

せな



龍郷町立大勝小学校 学校便り 令和5年2月号

旬 : **season**

校長 前田 浩之

俳句の季語では“春”を表す桜の花も、奄美では真冬の花です。10年に一度と言われる寒波の中でも、寺山の「昇り龍ヒカンザクラ」が鮮やかにその緋色の花を咲かせています。

日本人は桜の花が大好きで、その理由は「期間限定品が好きだからじゃないか？」という外国人がいました。私は「旬のものが好きなのだ。」とリフレーミング（見方を変えて肯定的に捉えること）して返します。「日本は四季の国だ、その季節季節に美しいものやおいしいものが移り変わっていく。その変化も楽しむのが日本人の感性なのだ。だから日本語には“旬（しゅん）”という言葉があり、英訳すると“season”なのだ。」と説明するのです。

江戸時代の僧侶“良寛”は「散る桜 残る桜も 散る桜」と詠み、限りあるものの象徴として“桜の花”を捉え、「命には限りがある。今を美しく生きなさい。」との教を残しました。

日米の架け橋となった新渡戸稲造は、英語で書いたベストセラー“Bushido～The Soul of Japan～”「邦題：武士道」で国学者の本居宣長（もとおりのりなが）の句「敷島の大和心を人間はば 朝日に匂ふ山桜花」を引用し、日本人の心とは、西洋人が好きなバラの花のように強い匂いを放ちいつまでも枝にしがみつき腐っていく醜態を見せるのではなく、控えめな香りて人を飽きさせず、散るときも美しい桜の花のような潔さにあるのだ。と説明しています。

ヒカンザクラに加え、もう一つの奄美の冬の“旬”はタンカン。花見の後に「きれいだったね。」と余韻を楽しみながら、亡き父が遺した畑のタンカンを食べ。日本人らしく、またシマンチュらしく、奄美の真冬の”旬““を楽しみたいと思います。

追記：寺山の周辺の清掃活動に「大勝子ども会」の皆さんが保護者とともにたくさん参加していました。寺山の桜は集落の「団結」を願い、植えられたものだそうです。先人の思いも受け継いでいきたいものです。

福祉体験学習～3年生が福祉について学ぶ～

1月26日に、3年生が福祉体験学習を行いました。町社会福祉協議会や愛寿園の方を講師としてお招きし、視覚や身体に障害がある方や高齢者の疑似体験などを行いました。体験学習を行う中で、「福祉とは、普段の暮らしを幸せにすること」、「みんなの優しさが、世界を素敵に優しくする」など、多くのことを学ぶことができました。実生活にも生かしてほしいと思います。



町読書活動奨励賞 受賞した皆さん、おめでとうございます

学年	多読の部	詩の暗唱の部	読書感想文の部
1年	(278冊)		
2年	(141冊)		
3年	(183冊)		
4年	(156冊)		
5年	(262冊)		
6年	(103冊)		



【町読書活動奨励賞表彰式の様子】

第18回しきなみ子供短歌コンクール 受賞おめでとうございます

佳作 5年
「川遊び 石投げ遊び 水を切る
五段六段 上達する」

佳作 5年
「ひまわりが 太陽めがけ さいている
ぼくもつられて 空を見上げる」

3月の行事予定

3日(金)	お別れ遠足・6年生を送る会 学校評議員会
6日(月)	S S W来校
11日(土)	第7回子ども博物学士講座
17日(金)	S S W来校
21日(火)	祝日「春分の日」
23日(木)	卒業式
24日(金)	修了式、辞任式
28日(火)	学校開放委員会

新1年生を迎える会

2月9日に、新1年生の体験入学及び、入学説明会を行いました。

現1年生が生活科の学習で計画した「新1年生を迎える会」では、ダンスを披露したり、折り紙を作ったりして、楽しい時間を過ごすことができました。

4月から2年生となり、お兄さん、お姉さんになります。1年間で大きく成長し、頼もしさも感じるようになりました。



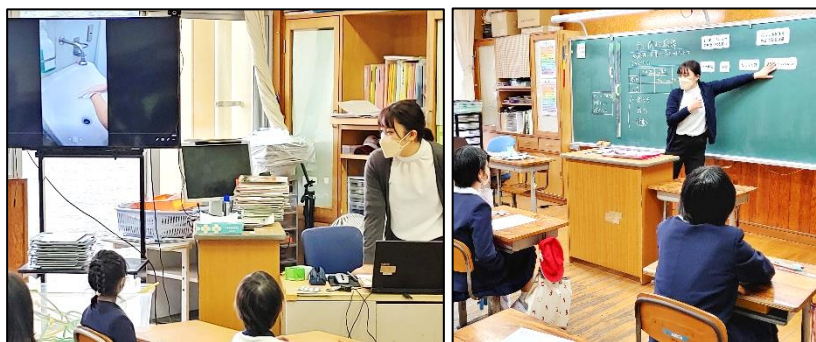
読み聞かせグループ「お話玉手箱」による読み聞かせ

2月2日に、読み聞かせグループ「お話玉手箱」による読み聞かせを行いました。今年度最後の読み聞かせということもあり、読み聞かせだけではなく、落語や劇などを披露していただきました。子どもだけではなく、職員も楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちの思い出が、また1つ増えました。本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願いたします。



食に関する授業

1月中旬から2月上旬にかけて、食に関する授業を行いました。町給食センターの樗木先生を講師としてお招きし、正しい手洗いの仕方やバランス良く食事をとることの大切さなどについて学習することができました。



なわとび大会に向けて、頑張っています！

2月24日に、なわとび大会が行われます。子どもたちは、なわとび大会に向けて、朝の活動や体育の授業などで縄や長縄エイトマンの練習に励んでいます。練習して1カ月以上が経ち、跳べる技の種類が増えたり、跳ぶ回数が増えたりして喜ぶ姿が微笑ましいです。練習している成果がなわとび大会で発揮できることを願っています。

